

ふれまち神出通信

ふれまち神出通信発行団体

神出ふれあいのまちづくり協議会
 西区神出町田井三四一
 地域福祉センター
 田中敏和
 編集責任者
 西馬義和

目次項	ふれまち・自治協議会	1
	パートナーシップ報告	2
	かたこ会・消防団	3
	各種団体	4
	小学校・小PTA	5
	中学校・中PTA	6
	児童館・お知らせ	7
		8

地域力の向上のために 神出ふれあいのまちづくり協議会 委員長 田中 敏和

阪神・淡路大震災から二十年が経過しました。二十年の節目に、各地で防災・福祉に関する取り組みが積極的に展開されています。高齢者にスポットを当てた取り組みも活発になってきているようです。たしかに、神戸市では、震災から二十年の間に六十五歳以上の高齢者の割合が二倍に成り、市民の四人に一人が高齢者なのです。

私は昨年、市内で行なわれた防災・福祉関係の講演会や研修会に何回か参加させていただく機会がありました。その中で、『地域コミュニティが機能している所は、災害対応は勿論、復興への話し合いもスムーズである』とお話されていたのを記憶しています。確かに、私自身も、祭りや地域イベントを通じての繋がりの継続が地域力の向上に繋がっていることを信じて、自治会活動を進めて参りました。自治会各種団体、住民一同力を合わせて楽しく活動することが、有事の対応にも結びつくものであると確信しています。つまり、いざというときに助け合うには、日頃からのお付き合いが大切なのです。神出ふれあいのまちづくり協議会でも、各種団体が地域で支え合う関係を強くする事が、これから益々必要となります。住民一人一人の距離を縮める取り組みが、大切な命を守ることに繋がっていくのです。

共助・協働の精神をもって、地区住民一人一人が安全で安心して暮らせる活動とともに進めましょう。



震災ボード除幕式

感謝状贈呈
(委員長から藤本校長へ)

文末になりましたが、四月のふれあいのまちづくり協議会の総会をもって、委員長の任を辞することになりました。自治会各種行事、まち里づくり関連やパートナーシップ推進関連等の多くの行事にたくさんの方に関わっていただき、惜しまないご尽力を賜りました。心より感謝を申し上げます。ありがとうございます。

ご協力よろしく願います

神出自治協議会

会長 前淵 芳信

本年一月より神出自治協議会の会長を務めさせていただきましたことになりました。前淵です。

神出町の皆様には平素から神出自治協議会の諸活動に対しご支援と、ご協力を賜り誠に有難うございます。

書面にてお礼申し上げます。

二十七年一月の定例自治協議会に於いて二十七年度に向かっている執行部役員の改選がありましたのでお知らせいたします。

- | | | |
|-----|-------|-------|
| 会長 | 前淵 芳信 | (南上) |
| 副会長 | 梶 哲郎 | (田井) |
| 副会長 | 押部 好和 | (新々田) |
| 会計 | 藤田 芳生 | (南下) |
| 幹事 | 藤原 秀勝 | (上北古) |
| 監査 | 久戸 貢弘 | (勝成) |
| 監査 | 大西 増弘 | (神納) |

以上のように決まり新体制がスタートしましたのでよろしく願いました。

二十七年度も四月の自治協議会総会にて承認を頂き、神出自治協議会による種々の行事を実施したいと考えております。

行事実施に際しましては各種団体の皆様には計画から実施まで何かとお手数を煩わしますが神出地区の活性化を図る為にもなにとぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

阪神淡路大震災から今年が二十周年の節目となり神戸市各地にて防災に関しての種々の取り組みが開催されており、二月十九日震災二十年事業として、西区防災シンポジウムがなでしこホールにて開催され、神出自治協議会が「災害の備え」についての活動報告を発表しました。



西区防災シンポにて活動を報告



神出町に於いては震災の教訓を風化させず今後の災害対策に生かそうとパートナーシップの「安全安心部会」が震災に関する作品を連絡所横の消防団水防資材倉庫の壁面に作品掲示ボードを設置しましたのでぜひ見てください。

神出町住民の皆様には防災意識の高揚を図る為に、神出町恒例の各支部別防災訓練が三月十五日に実施予定です。

今回防災訓練を実施して頂く地区は、(吉生・池下・新々田・池田・上北古・下北古)地区です。

開催地区自治会の皆様には何かと準備等に大変とは思いますが、一人でも多くの方に参加していただければ幸いですようよろしくお願

いたします。

南海トラフの大規模な震災が発生したらどうしよう！
実際にどう動けるのか？
大きな災害時には公助を期待するのは困難と考え、お互いの顔が見える神出町の地域性を生かし、・自助・共助の意識が重要と考えます。

国道一七五号神出バイパスの早期全面開通、幹線道路の交通停滞、通学路危険箇所解消、また 農道の神戸市移管問題等神出地区における課題は山積しており、行政と連携を図り、課題解決に向け各自治会長、自治会役員、神出町各種団体役員及び住民の皆様にご協力を頂きながら災害に強く、福祉にやさしい、安全、安心に暮らせる神出のまちづくりに取り組みたいと考えておりますので、重ねてご協力お願いいたします。

パートナーシップ

原風景保全育成部会

部会長 前淵 芳信

前任者西馬部会長の後を引き継ぎました前淵です。

はじめにこの部会の目的は神出地区の昔ながらの美しい原風景を守り育てることを目指します。

具体的には以下の三点についての勉強会を開催いたします。

- ・農地について
- ・分家住宅について
- ・その他土地利用について

「現在の取り組み状況は農地についてであります。」

従来お米野菜等の作物を作っていた田畑が高齢化の進行と後継者不足のため田畑の管理不足のため荒れ地になり、周囲へ悪影響を及ぼしています。

また田畑を地区外の方が借地として借り受け作物を作っている。(新規就農)

(新規就農許可が確認されると一定期間内助成金が交付されている。)

計画通り就農している方とまれには田畑をゴミ焼き場、廃却場等に利用している方があり周囲の方から苦情が出ています。

借地申請時同意書に自治会長もしくは里づくり会会長の承認印が必要であるが会長自身個人で安易に承認印を押すことにより後に大きな環境問題に発展することがあります。

神戸市では独自に人と自然の共生ゾーン条例を定めて、農地の転用を他の市町より厳しく規制しており、その中に、里づくり協議会の承認、すなわち地元の承認が定められています。

この承認がなければ、農地が資材置き場に変わることもないのですが、逆に、会長個人が安易に承認してしまうと、土地の景観が荒れることにお墨付きを与えてしまう。

使い方を間違えると怖い手続きでもあるわけです。

このような問題を事前に防止するため、自治会長、里づくり会会長、農業委員、農会長の方々を対象に勉強会を実施すべく原風景保全部会のメンバーで案を作成中であり、第一回目の勉強会を三月二十日(金)に予定しております。

勉強会の趣旨をご理解いただき参加いただけますようお願いいたします

パートナーシップ

安全・安心推進部会

部会長 穴田 泰久

何時も、お世話になっております。昨年、七月二十七日に神出町一斉クリーン作戦を、実行させて頂いた処、各自治会皆様方のご理解、ご協力により、千五百名余りのご参加で無事終了する事が出来ました。大変感謝を申し上げ誠にありがとうございます。

安全・安心推進部会では、この度、阪神淡路大震災二十年の節目を迎え震災の教訓を風化させる事なく未来に生かす為、住民の皆様から作品を募集し掲示板展示ボードの設置を企画し、この度完成致しました。神出連絡所北側消防団機具庫壁に設置しております。

二月十五日皆様方をお迎えし盛大に除幕式及び講演会も合わせて無事終了する事が出来ました。特に神出中学校の生徒の皆様方ご協力心より感謝申し上げます。素敵な作品に仕上がっておりますので、是非一度ご覧になって頂きたくご報告させていただきます。



展示ボード(連絡所敷地内)

序幕式にて



2015.2.16 (朝刊) 神戸新聞掲載

今後皆様方のお力に少しでもお役に成ればと考えて活動をして参りますので、宜しくお願い申し上げます。私のご挨拶とさせて頂きます。

パートナーシップ

にぎわい創出部会

部会長 岩井 正

「平成二十六年年度活動を振り返って」

「活力あふれる水と緑とやすらぎのまち神出」の実現を目指し、にぎわい創出部会は「元気でにぎわいのある水と緑のまち・里づくり」の四年目の取り組みと活動を報告します。

にぎわい創出部会の取り組みは、地域の資源を生かし地域の人々が楽しみながら活動して元気なまちを創出することを目指しています。

まちを元気にする四つの取り組みを行いました。

- ①「神出楽団」は、現在八名の団員で月一回練習を行なっています。昨年は神出町演芸大会、神出町民運動会、神出ウオークのオープニング演奏、神出中学校と合同演奏、神出町文化祭でミニコンサートを行いました。また、神出シニアコミュニティ、神港園、北村敬老会、神出町ふれあい祭りなど、地域の施設から演奏依頼を受け活発な活動を行いました。音楽は人々を元気にしてくれます。神出を元気にする神出楽団への参加をお待ちしています。
- ②お花畑プロジェクトでは、六地区合わせて「菜の花、コスモス」六町歩の申し込みを受けました。今年は、菜の花と桜の写真募集も行ないます。継続的な取り組みが「花の町神出」へ広がりました。
- ③神出町魅力情報マップは三千部印刷し、昨年三月神出町全戸配布しました。野菜の直売所や花暦のデーターなどを満載し神出町を楽しむ指針となっています。
- ④水辺環境の魅力向上を目指し、和合成池周辺の散策路やオニバス、あやめなど水辺を楽しめる空間整備を進めています。和合成池堤防で第二回神出町七夕祭りを行いました。七夕の実施に当たり堤防の草刈、竹きり、短冊配布、取り付け、多くの皆様に応援をいただきました。当日は強風と雨のなかでしたが、スパーポールすくい、輪投げ、中でもスイカ割りでは大変盛り上がりしました。

七夕祭りにて





七夕祭り



にぎわい創出部会がスタートして四年目に成りました。行政の支援を得ながらの活動でしたが多くの皆様と活動を共にしたことで神出のよさが再認識されたことと思います。一人ひとりが楽しく、神出を良くしたいとの思いがよりよい神出を作ることとなります。神出が楽しく元氣な町になるよう皆様方のご協力よろしくお願いいたします。

理想の会と現実の狭間

神出かたこ会連絡協議会

会長 中嶋 璋文

平成二十六年度かたこ会事業は、三月十三日の料理教室を以って、一部は計画時期がずれたものもありましたが、予定通り終了しました。区老連行事は「歩こう会」を残すのみとなりました。市、区、地区行事と合わせますと非常に多く大変忙しいと云うのが現状です。

我々の目標とするところは「会員相互の交流を深め楽しい会」であり、明日への活力を生み出す場としたいのです。

さて、「こ」で行事の一端、料理教室をご紹介しましょう。神出福祉センターで年2回、単位クラブ会長と女性部の皆さん合わせて、約二十五名で講師が作って

くれた「レシピ」を見ながら旬の食材を使って仕上げます。四班に分かれ、担当の料理にかかります。男性陣は包丁を持つ手はおぼつかないながらも、皮をむいたり、きざんだり「どう切るんや」「火の加減はこれでよいのか」と賑やかな中にも慎重に取り組んでいました。出来上がった料理は和室で味をかみしめながら歓談しました。

最後に会の活動構成と流れです。大きく分けると、スポーツ部、文化部、女性部が其々の部活動には各クラブから担当者を出してもらい関わってもらっています。又、各クラブ会長には毎月の定例会、区労連行事に繋がってきます。「の」様な流れなのですが、クラブの構成員の高齢化が進み、会長の受け手がいない事で、休部・解散の事態が生まれています。現在、全国老人クラブ連合会では五ヶ年で百万人会員増強運動を展開中ですが、現実には亡くなられた会員の補充が精一杯と云うところなんです。六十歳代後半から七十歳代の方に入会していただき、盛り上げていただく事を願うところです。



料理教室

皇太子さまをお迎えして

西消防団神出支団

支団長 穴田 泰久

神出支団は、平成二十六年年度、表彰伝達式及びポンプ操法競技会、年末特別警戒、西消防団ポンプ操法競技会などの消防団の恒例の行事、火災・水害での出動や、積載車やポンプなどの点検や訓練、地域の防災訓練、夏祭り、神出町民運動会、神戸市長とのパートナーシップ等への支援を実施しました。平成二十七年度も引き続き、神出町民の安全・安心のための活動を行っていきます。

今回は、皇太子さまをご案内した消防団員と地域の方をご紹介します。昨年十一月十三日、皇太子さまが神出楽農生活センターにお越しになられた。皇太子さまは、神出町民のお出迎えを受け、加工体験施設でのイチジクのジャムづくり体験、農産物の直販所やビニールハウス等を見学された。農産物の直売所では、神出支団吉生班の加古隆一団員が、この施設でのパンつくりと販売を、また、東地区の農家の藤本礼子さんは、畑で栽培した野菜の販売についてご紹介され



このセンターでのパンつくりと販売を皇太子に説明した加古団員



白ネギとレンコンを手にもって、育てたきやべつ、白菜などの野菜を販売していることを説明してきた喜びを、満面にうかべている東の藤本礼子さん

食事後、神出保育園の園児と親しくお話になりました。



神出保育園児とやさしく長時間お話しされている皇太子さま(引率の神出保育園園長の藤本団員)

この神出保育園児を引率したのは、この保育園の園長で、神出支団南班の藤本省三団員です。短い時間でしたが、神出町の人たちを幸せにしたひと時でした。

民児協の「地域行事」

民生児童委員協議会
会長 田中福美

高齢者の見守り活動として「ふれあい会食会」を毎月第一火曜日に実施しています。

平成二十七年一月は「かんでかんで」へ出かけてのバイキング料理でした。

担当委員と神出在宅支援センターの送迎により冷たい雨の中、現地に集合。新年の元気な挨拶の後、地元野菜たっぷりの美味しい料理に舌づつみを打ちながら会話もたっぴがりました。委員もお客様気分で大満足でした。その後は福祉セン

ターで児童館の子どもたちと一緒に寄席、天神亭わらわらさんの落語に大笑いした新年の会食でした。

恒例となつていきます「ふれあいもちつき大会も青少協、ふれまち協と一緒に一月三十一日十時から昔ながらのもちつきを行いました。幼児、子どもたちは初めて杵を持ち、もちつき体験に嬉しそうでした。

きな粉、あん、大根おろし味のつきたてもちに豚汁、ぜんざいもあり、百三十名程の参加者が食育と地域交流を楽しみ、大満足。



子どもペッタンコ(連絡所所長)



おいしいね！おもち・ぜんざいとんじる

また、二月十七日は「子育てひろばかんでっ子」の親子クッキングを実施、献立はお母さんたちの希望からハンバーグ、おはぎ、ゼリーです。小さい子どもさんをあやしなが調理、子守りを担当する委員もいたり賑やかな料理教室です。お味はいかがだったのでしょうか？



第三回「神出町ふれあい三世代グラウンドゴルフ大会」は三月二十八日(土)に開催します。今回は、J A兵庫六甲神出支店、神出小学校PTAのご協力を頂き実施しますのでぜひご参加ください

全員が市民救命士に

神出友愛会長 亀田 和美

あちらこちらで救命講習をやっているインストラクターが十名います、それで友愛メンバーも全員が胸骨圧迫、人工呼吸、AEDが使えるように今回初めて講習会をしました。結局インストラクター五名に受講者三名でしたが全員出来るように頑張ります。神出町民全員が市民救命士を目標に講習会を地域で開いて頂けたらと思っています。

「厳しい活動になります」

子ども会会長 菊池 司郎

子ども会主催の行事は映画鑑賞会&ビンゴ大会だけでしたが、今年は百五十名の参加で行う事が出来ました。児童館の二階が子ども達の笑い声や歓声で、いっぱいになり、とても楽しい時間を子ども達や保護者の方々と過ごす事が出来ました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

子ども会主催の活動以外に、神出町で開催されるいろんな行事にメンバーとし

て参加させていただき、この一年でいろんな経験をさせていただきました。たくさんの方々と交わることで、神出町で行われていることや、いろんな方々の力で今の神出町があるんだという事がわかりました。子ども会の会長をしていなければこのような貴重な経験をすることが出来ませんでした。この一年でどれだけの事が身に付いたかはわかりませんが、たくさんの方々と一緒に過ごす事が出来たのは、私の財産になりました。

平成二十七年度は、六地区での子ども会の活動になってしまいました。子ども会の今の体制はまだ結論がでていませんが、神出町の子どものために行ける事を見つけていきたいと思っています。

緊張が始まったスタートでしたが、最後は笑顔で終わる事ができます。一年間、本当にありがとうございました。

一年間ありがとうございました

神出小学校長 竹森潤児

三月になり日差しは一段と明るくなりました。暖かくなり、運動場で遊ぶ子どもたちの声はいっそう大きくなったように感じます。寒中に耐えてきた桜の木々の芽も日ごと膨らみ、まるで卒業式、入学式に咲くための準備をしているかのようです。

この一年を振り返ると、四月の入学式では緊張した顔を見せていた一年生は、今ではとても自信に満ちた顔に変わっています。そして入学式でその一年生の手を優しく引いていた6年生は、今、卒業という大きな節目に向けて練習が始まり、心の準備も進め

ているところですよ。卒業式は小学校生活六年間の総まとめとしての発表の場です。一人ひとり六年間の成果を發揮し、誇りを持って堂々と式に臨んでほしいと願っています。

自信をつけてきた一年生と立派に成長し卒業していく六年生、嬉しさと寂しさが交錯する三月です。

他の学年も次の学年に向け、一年間のまとめと次の学年への準備を進めています。本校の子どもたちみんな、今年頑張った自信と新たな目標を持って進級・進学してほしいと願っています。この一年、本校教育活動はたくさんの方々によって支えられてきました。本の読み聞かせに来てくださったお母さん方、授業の補助をしてくださった見守り隊の方々、そして各行事や学習を応援してくださったご家庭の皆様すべてに心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

来年度も子どもたちの活気に満ちた学校、地域に開かれた学校をめざして職員一同邁進していききたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

「平成二十六年新年度新たな取り組みについて」

神出小学校

PTA会長 瑠東 円也

日差しのうららかに春の到来の喜びを感じております。

初めてのことばかりでいつの間にか、二十六年度も終わりに差し掛かっています。

今年新たな取り組みを行いましたのでお伝えいたします。

青少年育成協議会様に協賛をいただき、十一月十四日、石川講師を招いて、ネット・スマホの「知らなかった」を聞いたことがある」にする講座を、小学校体育館で小学生五・六年生と中学一・二年生に対して約四十五分間、保護者に対して約四十五分間の講義を行っていただきました。

スマートフォンの特長を、どのように活用するかは使用者次第である。一時の面白い事のため、モラルを欠如した行動をしてしまい、結果取り返しの付かないことに陥った事例を使用して分かりやすく子供達に講義をしていただきました。

安易に使用でき手軽で便利なスマートフォンですが、伝え方は文字で表すため大変難しく話をするときにはいけません。

聞き手が受け取る文面を目で見ると感じ取る印象は個々によって違います。

そのため自分の意思とは違ったふうに見えることが原因でいじめが発生することも事例の一つとして挙げられました。また、知らない人からのメールを受け取り興味本位で返事をしてしまったことが原因で、犯罪に巻き込まれる具体例を示していただきました。

子供達はそれぞれのケースを自分自身に置き換えて、真剣に講義に取り組んでいたように思えます。

保護者だけの講義の時には、保護者も子供にどのように指導し、自分自身がどのようにしたら良いかなど、積極的に質問される方もおられ有意義な時間であったと思われまます。

今後このような活動を行っていかれたらと思えます。

「夢！絆！そして今を大切に！！」 神戸市立神出中学校長 藤本明宏

今年度の神出中学校のスローガンを紹介させていただきます。表題がそれにあたります。いかにも現代風で、最近の若者が大切にしている思いや願いを反映した言葉を集めていると思います。

大きくなれば〇〇になりたいと、将来の夢を思い描くのは昔から子供たちの特権でした。特に最近ではスポーツ等の世界で、十代、二十代の若者が頂点まで登りつめていきます。神出中学校の生徒たちも、それぞれが思い描く世界での活躍を目指して、日々努力を積み重ねてほしいと思います。

今年、震災から二十一年が過ぎました。大きな犠牲と引き換えに、私たちは命の尊さや人と人との絆の大切さを学びました。震災から学んだ教訓として、絆に込められた思いを生徒たちにも語り継いでほしいと思います。

そして、生徒に接していて感じることは、今が最も大切であるという意識です。例えば、叱る時に前のことも序にと考えようものなら、視線がこちらから逸れていて、しまったと反省することがよくあります。また、「将来困るから君のために」という決まり文句は、よほど考えたうえでないと効果が薄くなってしまうです。

発見したその時、話を聞いたその日に、生徒と向き合わなければなりません。私もそうですが、皆さんも若かりし頃を振り返ってみられると、思い当たるのではないのでしょうか。

憚りながら私見を述べさせていただきます。果してどのような思いでこのスローガンを作り、学校代表として選考する際に生徒票が集まったかは分かりません。

しかし、モダンで最近の若者たちと同じ感覚に馴染み、中学生という時代を真剣に生きようとしていることは確かであると思います。

最後になります。保護者並びに地域の皆様には、いつも絶大なるご支援を賜り感謝申し上げます。今後とも変わらぬご指導を賜りますようお願いいたします。



体育祭にて

「二十六年度」

神出中学校

PTA会長 穴田 浩三

日頃より神出町ふれあいのまちづくりに協議会にご理解とご協力ありがとうございます。私達の任期もあともう少しになりました。

田中委員長と共に役員一同頑張ってきました。夏祭り、町民運動会、パートナーシップ推進会議などお手伝いぐらいの事しか出来ませんでした。

その中で、金棒池、西付近の通学路歩道の街灯が暗く現在設置されている街灯では、歩道兼自転車道を通行するには暗く非常に危険な為ふれあいのまちづくり協議会及び近隣の自治会長にお願いし街灯の追加申請を行った結果街灯を追加設置する事となりました。又歩道に出ている枝木も伐採してくれて西建設事務所の素早い対応に感謝申し上げます。これも田中委員長が働きかけてくださったおかげです。ありがとうございます。

十一月に行われた神出中学校廃品回収に多くの資源が集まりました。神出町の地域の皆様のなみなみならぬ御協力誠にありがとうございました。

また残された時間役員一同頑張りますのでご協力お願いします。



廃品回収にて



神出児童館 クラブ募集のお知らせ

★すこやかクラブ(二〜四歳児と保護者)

五月中旬から二十八年三月中旬(夏休等除く)、毎週木曜日午前十時半から十一時半まで
年会費 三千円
申込期間 四月二日〜十一日

就園前のお子様とのお母さんとがグループで楽しく遊んだり、母親同士で子育てについて学びあひながら交流する場です。公園デビューのない神出町、「児童館デビュー」ママもお子さんもお友達を作りましょう。

★お茶クラブ(小学生)

五月中旬から二十八年二月下旬(夏休等除く)、毎月第三土曜日午後二時・三時から
年会費 千五百円
申込期間 四月(じどう)かんだよりでご案内します)

伝統文化に親しむ機会として、お茶を楽しみませんか。月一回ですが、宝勢在住三宅和子先生は、初歩からやさしく分かりやすく、指導くださいます。かわいしい和菓子を味わいながら、お茶の心を体験しましょう。

二月下旬のお茶会は、七段飾りの有職雛人形の前でお手前を披露する発表会でもあります。

★ランドセル来館(じどう)かんパスポート)

自宅が遠くて帰宅後児童館へ遊びに来るのが困難な児童が対象で、保護者が押印したパスポートを持参すれば、学校から直接児童館に来館できる制度です。ただし、保護者が放課後不在の学童保育クラブの対象となる児童は利用できません

新年度の受付は、新学期が始まってから小学校で用紙を配っていただきます。

★学童保育クラブ(小学生全学年)

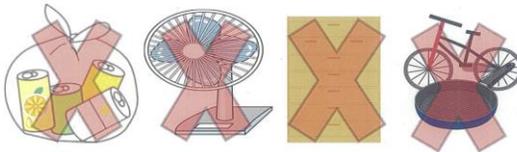
新学期からの入会募集は済んでいます。が、年度途中からでも入会できます。保護者がお勤めに出られるようになって、児童が一人で留守居は心配という時にはどうぞご連絡ください。

ふれまちからお知らせ

資源物の持ち去り禁止

クリーンステーションからの持ち去りを禁止します

- ①目的: 持ち去りによる散らかしや騒音をなくし地域の美化を推進します。
- ②実施時期: 平成26年10月1日より。
- ③クリーンステーションから資源物の持ち去り禁止
: 資源物(缶、びん、ペットボトル家庭用電気製品、家具類などの大型ごみ、その他金属を使用した製品)をクリーンステーションから持ち去ることを禁止します。
- ④持ち去りを行わないように警告・命令
: クリーンステーションに出された資源物の持ち去りを行う者に対して、市長は持ち去らないように警告したり、命令することができます。
- ⑤命令にしたがわない場合
: 命令をうけたにもかかわらず、その後も持ち去りを繰り返した場合には、条例に基づき、20万円以下の罰金が科せられることがあります。



〈お願い〉

- ◎夜間早朝の持ち去り防止のため、収集日の午前5時から8時の間に排出してください。
- ◎持ち去り行為を目撃しても、その場で問い詰めたり、無理な制止などは行わないでください。
- ◎資源物の持ち去りでお困りの場合は、下記までご連絡ください。

連絡先: 神戸市環境局資源環境部業務課
神戸市中央区加納町6丁目5番1号(神戸市役所3号館6階)
○電話: 078-322-5292 FAX: 078-322-6061

新年度から、国の「子ども・子育て新制度」実施に伴ない神戸市の多くの児童館では四年生も対象となつています。神出児童館では二十三年度から自主事業として四年生以上をお預かりしていますが、これからは五年生以上が自主事業となります。

神出児童館 (駐車場あります)
電話 九六五一―四二四
FAX 九六五一―三六一五

インターネット: 神出児童館で検索

国道175号 神出バイパス一部開通
(田井〜上北古 3月15日)

